

## 平成 30 年度第 1 回恵庭創生懇談会議事録（要旨）

日時	平成 30 年 6 月 1 日（金）10：00～
場所	えにあす 1 階 ホール
出席者	小磯 修二（一般社団法人地域研究工房代表理事） 橋内 勇（学校法人鶴岡学園北海道文教大学副学長） 切明 毅（学校法人産業技術学園事務局長） 林 和則（北洋銀行恵庭中央支店長） 尾田 聡（北海道銀行恵庭支店長） 大溝 宏（連合北海道恵庭地区連合会長） 佐藤 康介（社会保険労務士） 山谷 秀治（千歳公共職業安定所（ハローワーク所長）） 渡邊 幹夫（北海道石狩振興局地域創生部長）
議題	（1）平成 29 年度地方創生推進交付金効果検証について （2）平成 30 年度地方創生推進交付金採択状況について （3）官民連携によるガーデンデザインプロジェクトの概要について （4）その他（今後に向けての総合戦略改定についての意見）

発言者	内容
司会	【次第 1．開催あいさつ】 企画振興部次長 大槻より開会のあいさつ。
市長	【次第 2．市長あいさつ】 お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。今年度、第 1 回目の創生懇談会となります。これまで懇談会でいただいたご意見をもとに総合戦略の 2018 年版の改訂版を作らせていただきまして、現在取組んでいる最中です。 その取組みの一つが「えにあす」で恵庭市にとって仕組み、複合施設という点で初めての施設となります。4 月にオープンして、来場者数が予想を超えて 34000 人となりましたが、さらに利用が増えるよう、ここでできることの情報発信など、様々な努力をしていきたいと思っております。 人口については増加しておりまして、今年 4 月末で 69,580 人と、前年と比べて 200 人程増えています。要因としては、活発な宅地造成、企業の進出による雇用の増大などがあると思っております。 これからも私どもは立ち止まることなく、まちづくりの推進に取り組んで参

	りたいと考えておりますので、皆さま方からの貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。よろしくお願ひいたします。
司会	事務局の紹介。 配布資料の確認。
事務局	【次第3．恵庭市総合戦略と恵庭創生懇談会について】
司会	【次第4．恵庭創生懇談会委員あいさつ】 サッポロビール㈱の増淵様、千歳民報社の尾野様、恵庭商工会議所の安保様の欠席を伝える。 以下委員挨拶。
A 委員	市内で社会保険労務士をしております。昨年に引き続き参加させていただきます。よろしくお願ひします。
B 委員	今年から労働者代表の連合北海道恵庭地区連合の会長をしております。どうぞよろしくお願ひします。
C 委員	金融機関としてまちの活性化に向けて日々努力しております。本年度もよろしくお願ひします。
D 委員	昨年に引き続き参加させていただきます。協力できるよう発言したいと思います。よろしくお願ひします。
E 委員	昨年に引き続き2年目になりますが、どうぞよろしくお願ひします。
F 委員	フリーで地域政策コンサルタントをしております。この創生懇談会は最初から参加しておりまして、引き続き活動して参りたいと思います。よろしくお願ひします。
G 委員	私も最初からこの懇談会に関わらせていただいておりますが、えにあすを見て、市がどんどん発展していることを実感しております。どれだけ貢献できるか考えて、参加させていただきます。よろしくお願ひします。
H 委員	私も創生懇談会の最初からのメンバーとして、引き続き参加させていただきます。恵庭は魅力的なまちなので、北海道文教大学の施設を集約していく方向に向かっているところです。よろしくお願ひします。
I 委員	4月に稚内より赴任しまして、初めて参加いたします。25年前と比べて、人口も企業も増えて、道路も広がっていて、まだまだ伸びる地域だと感じています。最近は人手が足りない企業が多く、問題になっておりますので、なんとか解決しなくてはと考えております。どうぞよろしくお願ひします。
司会	【次第5．座長選任】 事務局案：座長 小磯委員、副座長 渡邊委員として委員に諮る。 委員は全員一致で事務局案を了承、承認。 以下、座長、副座長あいさつ。
座長	改めてよろしくお願ひします。北海道の創生協議会のメンバーを務めて

	<p>おりまして、そのテーマが民間活力の活用と地方創生でした。そこで、原田市長から恵庭が前向きにチャレンジしている取組みを紹介され、私にとっても大変勉強になると改めて感じました。そのような思いで務めて参りますのでよろしくお願い致します。</p>
副座長	<p>昨年に引き続きよろしくお願い致します。今日、えにあすを拝見して、非常に来てみたくなる施設という感想を持ちました。個人的にも、このような特徴的な施設を尋ねられたら、ぜひ紹介したいと思っております。副座長ということですが、この会議で勉強させていただきたいと思致します。どうぞよろしくお願い致します。</p>
座長	<p>以下、座長による進行。 それでは、順次進めて参りたいと思致します。</p>
事務局	<p><b>【次第6．議事】</b> (1) 平成 29 年度地方創生推進交付金効果検証について</p>
座長	<p>ご質問やご意見はございますか。</p>
市長	<p>補足させていただきます。「子どもの生活・学習支援」は他の場所でも行っておりまして、週に 1 回、退職教員の方々に支援いただいて、1 時間半ほど勉強したあとに地域の方々が用意してくれる食事をみんなで食べるというものです。いつも一人で食事するお子さんもおりまして、食事のマナーも身につけていない子もいたという報告もあります。このような状況で子どもたちをどう育てていくかが重要だと考えておりました。創生交付金を活用してこの取組みを行えたのは大変ありがたいことだと思っております。こうした取組みを広げていきたいと思っておりますが、保護者の理解が得られないと、子どもたちが参加できないことが課題だと感じております。</p>
座長	<p>恵庭の魅力づくりのなかでも学習する環境にない子どもに対する支援は地域の教育力の向上につながる取組みで、非常に重要なことだと思致します。 全体の説明を受けてから、後でご意見をうかがいたいと思致します。</p>
事務局	<p><b>【次第6．議事】</b> (2) 平成 30 年度地方創生推進交付金の採択状況について</p>
座長	<p>基本的に 29 年度を取組みを継続するという内容ですね。平成 30 年度新しい取組みはありますか。</p>
事務局	<p>花の拠点整備事業、センターハウスの整備があります。オープンガーデンツアーも今年度は市民だけでなく、札幌などからも誘客を促進したいと考えております。</p>
座長	<p>ご質問などございますか。 なければ、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【次第6．議事】</b></p>

	(3) 官民連携によるガーデンデザインプロジェクトの概要について
座長	<p><b>【次第6. 議事】</b></p> <p>(4) その他（今後に向けての総合戦略改定についての意見）</p> <p>ご質問はございますか。では、私から質問させていただきます。先ほど、「サウンディング型市場調査」とありましたが、具体的な説明をお願いします。</p>
事務局	サウンディングの結果、今の道の駅のイメージ、恵庭のイメージを活かした新規事業ということで、今の道の駅に欠けているものの提案を協議しています。
座長	サウンディングとは、どのようなことを行うんですか。
事務局	サウンディングは恵庭市も初めて行いまして、事業の項目を決めて、それに対してどうかということと、提案があるか聞きました。花のヴィレッジでどのような事業が展開できるか具体的な提案と、市に対する要望の有無を確認しまして、約5社から事業提案がありました。
市長	花の拠点として整備する地区には市の建物が3つあります。道と川の駅と、旧保健センター、かのなです。この3つを民間に提供し、楽しい空間づくりを通して、収益性の高い事業を展開していただくことを考えております。しかし、民間の事業者が全く関心を示さない可能性もありますので、まずは対話形式でここでの事業についてご意見をうかがいました。いただいた意見をもとに公募条件を考えて、官民連携で民間活力を活かし、花のヴィレッジ全体を市民に喜ばれる空間にしたいと考えております。
座長	<p>官民連携は昔から語られてはいますが、官がやっていた仕事に民の力を活かすのはなかなか難しいことです。お互いがウィンウィンになるような関係づくりが大変で、今回サウンディングという形で民の知恵、ノウハウを事前に掌握したうえで事業づくりをすることは大変重要なことだと思います。</p> <p>民間活力をうまく活かす取組みは、まだまだ進行形だと思いますが、恵庭は本当に様々なチャレンジをしていると改めて感じました。難しい面もあると思いますが、様々な事業を同時に進めて、経験を次につなげていくという印象を持ちました。</p> <p>恵庭の取組みについての感想、ご意見をうかがいたいと思います。</p>
G 委員	「官民連携」を毎年ずっと取組んできた成果が表れていると思います。30年度も引き続き取組んでいくと思いますが、どのようなご苦労があるかお聞きしたいと思います。
H 委員	<p>これまでの計画は市民の目線で事業を進められていて、どれも地に足が着いた目標だと思いました。</p> <p>恵庭市は札幌と空港の通過点になりがちなので、市外からお金を落として</p>

	<p>もらえるような施策を盛り込むとさらに発展すると思います。</p>
I 委員	<p>ハードを官が、運営を民がというケースをよく聞きますが、様々な苦勞があつてそれを乗り越えているんだらうと感じました。恵庭市は恵庭、恵み野、島松が分断されていないイメージがあり、地域が一つで発展していく工夫がされているイメージがあります。</p>
A 委員	<p>「たきかわ菜の花まつり」に行つてきまして、たくさんの来場者を見て、「滝川市＝菜の花」ということが定着していることが大きいと感じました。恵庭の場合も一つに絞つて魅力を発信し続けることが非常に大切だと思います。花の拠点においても様々な市民活動団体を巻き込みながら恵庭の魅力を発信していけるような施設になればとてもいいと思います。</p>
B 委員	<p>今、小学校3年生の担任をしまして、総合学習で「恵庭PR大作戦」というものを行っています。恵庭の自慢できるところはどこかアンケートを行うと、自然や花といった項目が上位にランクインし、力を入れてきたものが着実に子どもにも地域の方にも広がっていると感じました。</p> <p>プロジェクトを進めていくと、きっと「花のまち」ということが定着していくと思います。1年かけて「PR大作戦」を行つて、少しずつ「恵庭っていいまちだよ」と広まっていくと、また人が集まってくると思いました。</p>
C 委員	<p>29年度の効果検証については、効果があつたと感じます。官民連携で、民が一番気にかける点は適正な利益が産み出されるかということに尽きます。これからも民間の力を交えてということであれば、企業が進出しやすくするために適正な利益が長期間安定的に入るよう、お互い打合せをしていくことが必要になると思います。</p> <p>人手不足の問題で、地元の方が地元で就職する流れを作るために、求人というニーズを発信する取組みがあればいいと感じました。金融機関は今、雇用の関係や事業承継に力を入れており、恵庭の企業のためにできることはまだまだあると感じています。</p> <p>観光に関しては、29年度の施策は日帰りの観光客を増やすものですが、見るところがたくさんあると、恵庭で食事して宿泊しようという流れになるので、施策として正解だと思います。</p> <p>恵庭は、生活するには非常に快適ですし、仲間と話していても印象はいいので、民間の力を活用していくとより魅力が増すと思います。</p>
D 委員	<p>KPIの実績値は完璧ですよね。逆に恵庭の力を低く見すぎているのではないかと思います。これから住んでもらう方に対する施策を行つて、人口が増えているということですが、まずは恵庭との接触の機会を持っていただくことが人口増につながると思います。</p> <p>雇用の問題ですが、本当に企業が人を採用することが難しい状況です。空</p>

	<p>港と札幌の間にあって立地条件も良くて、気候条件もいい、あとは人ということですので、連合さんとハローワークさんとで協力していただいたり、他のまちの実質、恵庭が生活圏になっている方も取り込むような形で進めていくと、いい循環になると思います。いい意味で交流人口を増やしていただければと思います。</p>
副座長	<p>29年度はK P I の目標も達成しております、非常に効果があったと思います。資料に『さっぽろ圏』若者定着促進広域連携事業』とありますが、石狩振興局も管内の市と連携して、高校生、大学生を対象に若者の定着を促進するための取組みを行っています。27年、28年、29年と参加数は横ばいですが、管内はどこも同じような状況です。</p> <p>石狩圏、札幌圏の就職を促進するアプローチとして昨年、石狩振興局では石狩管内で働く若い方と首都圏の大学生との交流会と、札幌圏の学生に向けても同じような取組みを行いました。今後は時代にあった対策を考えていかなければならないと考えております。</p> <p>今年度はUターン就職を目標に、地元の企業を知ってもらうきっかけになればと、石狩管内出身の首都圏の大学生向けに本人の興味のある業種の地元企業で実際に働いてみるという試みと、首都圏の大学に通っているお子さんを持つ石狩管内に住んでいる保護者向けに地元の企業を知ってもらうセミナーを検討しております。市町村とも連携していければいいと考えております。</p>
座長	<p>地方創生の総合戦略ができて4年目ですが、人手不足問題が大きなテーマで、地方創生の政策で雇用にどう向き合っていくかは難しいチャレンジですが、今後に向けても大切な事業になると感じました。</p> <p>29年度の交付金の検証は「妥当」ということでいいと思いますが、様々なご意見が寄せられましたので、市長からコメントをいただけますか。</p>
市長	<p>まず、官民連携の苦勞について、まだまだ手探りな状況ですが「えにあす」のように連携しても行政のニーズに応えることができることがわかりましたので、このようなことを進めていかなければならないと感じております。もちろん民間は利益のことがあります、利益がなくなったから撤退」ということになれば、市の事業もできなくなる可能性もありますので、行政も民も共に利益を増やすためにはどうしたらいいのか考えるという方向に向かえたらいいと思います。</p> <p>花の拠点に関しても、空間のまちづくりを行政だけでなく民間の方々と有機的に結合して一緒に考えて、利益を出して成功例を作り、全国に広めていければと考えております。そのためにまず、民間の方々に恵庭を愛していただいて、行政の取組みに対して積極的に提言していただければと思います。</p>

	<p>それと、恵庭、島松、恵み野は生活圏として考えるとバラバラの地域となりますので、「コンパクトなまちづくりを」となります。ただ、イベントの時には大勢が集まりますので、市民の方にはそのような意識は薄れてきていると感じています。</p> <p>最後になりますが、皆さま方から恵庭に対して様々なご意見をいただきましたことに感謝を申し上げます。どれだけ応えられるかわかりませんが、ご意見を大切に参りますので次の会議でもご意見を聞かせていただければありがたいと思います。</p>
座長	<p>官民連携で民間企業の力をどのような形で活用してまちづくりにつなげていくのが大きなテーマですが、P F I 事業がうまく進まない理由を調べると、行政が本気で取組んでいないという理由がありました。行政がしっかりと民間と協力する姿勢を示すことが非常に重要ですが、恵庭は本気で取組む姿勢を示しているのがポイントだと思います。</p> <p>滝川の菜の花の話が出ましたが、滝川は空知の中核都市でなかなかこれという魅力がなく、恵庭のような素晴らしい取組みをするためにはどうしたらいいのかというなかで、地元の住民が一生懸命地道に取組んだ結果が菜の花で、頑張れば様々な取組みができるということです。恵庭は素晴らしい花の資源がありますから、誇りを持って磨きあげてほしいと思います。</p> <p>それから、中国の首脳がえこりん村を訪れていて、中国の方は皆さん北海道を訪問されていますが、市長はどのように受けとめていますか。</p>
市長	<p>知事からうかがいましたが、李克強さんは北海道に来たかったそうなんです。恵庭を選んでいただいたことは本当にありがたいことだと思います。李克強さんがぜひトマトの木を見たいとおっしゃり、時間をかなり超過していましたが見てくださいました。おそらく中国でも報道されていると思うので、恵庭に観光客が来るのを期待しています。</p>
座長	<p>中国の地方の開発、振興ということを考えると、北海道という地域は中国にとって興味深い地域なのではないかということと、北海道という地域そのものへの関心ですよね。私は恵庭が関わって作りあげた、環境への優しさをコンセプトにした企業の理念に共鳴した部分があるのではないかと感じました。これをいい形で恵庭の魅力につなげてほしいと思います。</p> <p>全体を通してご意見ございましたらうかがいます。</p> <p>無いようでしたら事務局からその他事項として発言をお願いします。</p>
事務局	【次第7. その他】
座長	第1回恵庭創生懇談会を終了します。ありがとうございました。
一同	どうもありがとうございました。